

香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略(「人口ビジョン」「総合戦略」)の概要

人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口減少問題の克服

- (1) 香美市の現状
- 1960(昭和30)年代まで4万人超、1965(昭和40)年には39,238人、2000年(平成12年)は31,175人、2010(平成22)年には28,766人と減少を続けている
 - 国立社会保障人口問題研究所による将来人口推計(2040年以降は準用)
2010年28,766人が、2040年19,665人(約32%減)、2060年14,681人(約49%減)
 - 合計特殊出生率 1.38(県下27位)
 - 社会移動 2003年から2012年は転出超過、2013年転入超過(38人増)、2014年転出超過(12人減)
- (2) 現状と課題の整理
- 産業・雇用
⇒ 基盤となるもの、雇用を生むもの、地域に根差した産業振興が必要
 - 人の流れ
⇒ 暮らす場所の魅力を各層に向け整備が必要
 - 結婚・出産・子育て
⇒ 子どもを産み育てやすい環境の充実が必要
 - 地域
⇒ 各地域に合わせたきめ細かな対応が必要
- (3) 今後の取り組みにおける基本的視点
- 人口減少問題に取り組むための3つの基本的な視点(※)を持つ。(※総合戦略の1参照)
- (4) 目指すべき将来の方向
- 香美市の将来都市像である「山・川・まち・ひとが躍動し、支え合い、響き合う進化する自然共生文化都市・香美市」の実現
⇒ 将来にわたって自然と共生する文化都市として、持続可能な香美市を目指す
- (5) 人口の将来展望
- 自然増減(出生等)に関する仮定:
・合計特殊出生率を2040年までに国の仮定値である2.07(人口置換水準※)まで上昇させ、以降2.07を維持すると仮定
 - 社会増減(移動)に関する仮定:
・2020年まで社会移動をゼロ(増減なし)とし、以降年間30人ずつが増加すると仮定
 - 人口の将来展望(目標人口)
上記の仮定により、
短期目標(2020年)25,900人
中期目標(2040年)21,700人
長期目標(2060年)19,400人

※人口置換水準:ある死亡の水準の下で、人口が長期的に増えも減りもせず一定となる出生の水準

第1期総合戦略(平成27年度～H31年度)

1 基本的な考え方

- (1) 人口減少と地域経済縮小の克服
「人口減少が地域経済の縮小を招き、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラル(悪循環の連鎖)を克服するための取り組み
○ 3つの基本的な視点
- ① 移住・定住に関する希望を実現する
② 若い世代の結婚・子育て等に関する希望を実現する
③ 地域の担い手を確保し、時代にあった地域づくりを進める
- (2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立と総合戦略
香美市の将来都市像である「山・川・まち・ひとが躍動し、支え合い、響き合う進化する自然共生文化都市・香美市」の実現を目指すもの。
「ひと」を中心とした「まち」「しごと」の好循環の確立のための、一体的・持続的な取り組みで、香美市振興計画と一体となる戦略
- (3) 計画期間
平成27年度から平成31年度(5ヶ年計画)

2 施策の方向性

- (1) 市の基本目標
- 【基本目標1】 地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する
【基本目標2】 香美市への新しいひとの流れをつくる
【基本目標3】 子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる
【基本目標4】 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。
- (2) 総合戦略の効果的な推進
- ① 総合戦略の推進にあたっての基本姿勢
 - ・国の政策5原則を踏まえた施策の展開
 - ・客観的データに基づいたKPI等の設定・検証
 - ・官民協働、県との連携協調、周辺市町村との広域連携の推進に向けた検討・調整
 - ② 推進体制の整備
 - ・「香美市まち・ひと・しごと創生・移住定住推進本部(庁内組織)」と外部委員で構成する「香美市振興計画・総合戦略審議会(産官学)」において策定を行い、PDCAサイクルによる取り組みの効果検証及び議会での審議
 - ③ PDCAサイクルによる進捗管理
 - ・PDCAシートの作成、年度毎の取り組み状況の確認

3 基本目標と基本的方向、具体的な施策

【基本目標1】
地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する

数値目標:・就業者数・起業数

【基本的方向】

- 地域に根差した産業(農林業・地場産業)を中心に、若い世代の担い手の確保に重点を置いた雇用機会の創出
- 地元人材の育成・定着を通じた地域産業を支える人材の確保

【基本目標2】

香美市への新しいひとの流れをつくる

数値目標:・市外からの移住者数・転入者>転出者

【基本的方向】

- 官民協働の移住促進
- 地元定着のための地元採用・就労の拡大

【基本目標3】

子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる

数値目標:子育てをしやすい環境であると考えられる人の割合・理想的な子どもの数・現実に持たたい子どもの数

【基本的方向】

- 地域全体で子育てを支える環境づくり
- 関係機関の連携による妊娠期からの切れ目のない子育て支援体制の整備

【基本目標4】時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標:・「小さな拠点」の形成数

【基本的方向】

- 住み慣れた地域で安心して暮らすための住民主体の持続可能な地域づくり
- 近隣集落や外部人材(学生等)と連携した集落維持活性化の推進

◆ 地域産業の競争力強化

- (1) 高知県産業振興計画の推進
- ① ユズの総合的な産地強化対策
 - ② 地場産業の振興
 - ③ (仮称)鍛冶屋の学校の設立支援
 - ④ 香美市ブランドの確立・特産品づくり
 - ⑤ 木材住宅支援事業
 - ⑥ 木質バイオマス有効利用促進事業
- (2) 観光振興策の実施
- ① 体験型観光の推進
 - ② 龍河洞エリア活性化事業
 - ③ 広域観光の取組の推進
 - ④ 特産品カタログ及び販売所マップ等発行事業

(3) 創業支援

- ① 空き店舗活用助成事業
 - ② 光通信を利用したIT企業の誘致
- ◆ 人材還流・人材育成・雇用対策
- (1) 農業の担い手確保・育成
 - ① 新規就農研修支援事業
 - ② 青年就農給付金給付事業
 - ③ 園芸用ハウス整備事業
 - (2) 林業の担い手の確保・育成
 - ① 林業後継者育成支援事業
 - (3) 企業立地の推進
 - ① 企業立地促進奨励金事業

◆ 移住の促進

- (1) 「香美市を知って・好きになってもらう」「移住に関心を持ってもらう」取り組み
- ① シティプロモーションビデオ作成
 - ② 香美市の住み歩きマップ作成
 - ③ 移住交流体験ツアー
 - ④ お試し移住体験住宅
- (2) 移住の受け皿体制の整備充実
- ① NPO法人業務委託
 - ② 香美市移住定住推進協議会

③ アドバイザー委託

- (3) 住まいの確保
- ① 空き家バンク登録事業
 - ② 空き家改修費等補助金
- ◆ 企業等における地方採用・就労の拡大(再掲)
- (1) 創業支援(再掲)
 - (2) 林業の担い手確保・育成(再掲)
 - (3) 企業立地の推進(再掲)

◆ 結婚

- (1) 出会い・結婚支援事業
- ① 交流・婚活推進事業
- ◆ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- (1) 母子保健事業
- ◆ 子ども・子育て支援の充実
- (1) 待機児童の解消
- (2) 子育て世帯への経済的支援の充実
- ① 児童医療費助成事業
 - ② 多子世帯保育料等軽減事業・私立幼稚園就園奨励費補助事業
- (3) 地域子育て支援拠点の充実
- ① 地域子育て支援拠点事業・一時

- 預かり事業・ファミリー・サポート・センター事業
- ② 放課後児童クラブ・放課後子ども教室・放課後学習支援
- ◆ 教育環境の充実
- (1) 確かな学力の推進・きめ細やかな教育の推進
- ① 学力向上推進事業
 - ② 国際バカロレア教育推進事業
 - ③ 教育支援センターの充実
- (2) 地域ぐるみの教育の推進
- ① よってたかって地域が育てる教育推進事業
 - ② ふるさと教育推進事業
 - ③ 高知工科大学との連携

◆ 「小さな拠点」の形成

- (1) 集落活動センターの普及・取組支援
- ① 集落活動センター事業
 - ② 大学等地域活動支援事業
- (2) あったかふれあいセンターの整備・機能強化
- (3) 公共交通空白地の解消に向けた取り組み

- ① 市営バス運行委託事業
 - ② 市営バス購入事業
- ◆ 住民が地域防災の担い手となる環境の確保
- (1) 自主防災組織の組織率の向上、活動活性化、リーダー的人材の育成
- ① 自主防災組織育成事業